

薬学専攻博士課程 一般入学試験(一次募集)

外国語（英語） 出題の意図

本設問は、大学院進学後に必要となる医療・薬学系英語論文の読解力を多面的に評価することを目的としている。

具体的には、次の点を確認する意図がある。

1. 研究デザイン・方法論の把握能力

- 単一施設・後方視的研究であること、対象患者、研究期間、薬剤師の介入内容など、研究の枠組みを正確に読み取れているかを確認する。
- 「誰が・どこで・いつ・何をした研究か」を論理的に理解できているかを見る。

2. 数値・割合・比較結果の正確な読解力

- 患者数、介入件数、有害事象の発生率、介入後の変化、薬剤師提案の寄与割合など、定量的情報を誤りなく把握・訳出できるかを評価する。
- 特に、grade 分類や割合（%）が示す臨床的意味を理解した上で訳せているかが重要。

3. 論文全体の主旨・結論の把握力

- 本研究の結論が「臨床薬剤師（しかも単一の薬剤師）の介入が、有害事象の予防・軽減に大きく寄与したこと」にあると正しく理解できているかを確認する。